

肉用牛の粗飼料確保に向けた取組について

所属名 : 大隅地域振興局農政普及課
発表者名 : 今村 正昭

<活動事例の要旨>

肝属地域は県内で最も畜産の盛んな地域であり、繁殖雌牛の頭数は県内の約23%を占めているが、農家の高齢化及び後継者不足に伴い飼養戸数は減少傾向にある。

しかしながら、規模拡大も進んでおり大規模農場も増加してきている。

このような状況の下、肉用牛の生産基盤強化を図り、増頭を推進するには、安定的な粗飼料確保のためにWCS用稲の活用も重要となっている。

一方で、水田において粗飼料確保のためのWCS用稲の面積は近年飛躍的に増加しており、飼料生産作業受託組織の作業受託面積も着実に伸びてきている。

しかし、WCS用稲の収穫作業が9月となり、降雨による収穫制限や面積拡大による労力不足で収穫適期に収穫できずWCSの品質にバラツキが生じている。

また、ほ場が主食用米と混在しているため作業性が低いなどの課題もある。

そこで、WCS用稲の新品種の導入による作業労力の分散化のための支援と、農地の集約化による生産・作業の効率化に向けた支援を行った。

1 計画された活動の課題・目標と策定過程

(1) 課題・目標と設定理由、及び活動の内容と方法

ア WCS用稲の新品種の導入による作業労力の分散化のための支援

これまで、WCS用稲は晩生品種が主流であったことから、中生品種の導入により収穫時期を分散させ、労力の分散を図るとともに、品質の向上を図る。

活動の内容と方法については、中生品種と晩生品種の実証ほの設置、調査及び嗜好性試験を行い、中生品種の特性把握を行った。

イ 農地の集約化による生産・作業の効率化に向けた支援

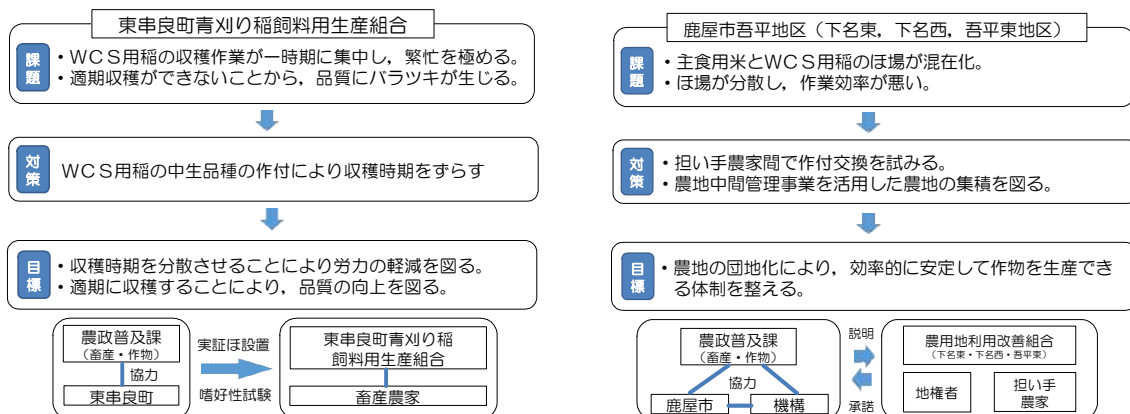
主食用米とWCS用稲のほ場を団地化していくために、農地を担い手農家や集落営農法人に集積させることによる生産と作業の効率化を図った。

活動の内容と方法については、ほ場マップの作成及び農地中間管理事業による土地の集積を図るための説明会及び戸別訪問を実施した。

(2) 計画の策定過程

ア 飼料用稲の新品種の導入による作業労力の分散化のための支援

イ 農地の集約化による生産・作業の効率化に向けた支援



2 普及活動の内容

(1) 活動の経過

- ア W C S用稲の新品種の導入による作業労力の分散化のための支援
- ・2種類のW C S用稲の中生品種（ホシアオバ，たちあやか）を選定し，東串良町及び飼料生産組合員の協力を得て実証ほを設置した。
 - ・従来の晩生品種との生育進度（出穂期）を比較しながら調査した。
 - ・関係機関，飼料生産組合員，農家を対象とした研修会を実施した。
 - ・調製されたW C Sは2戸の畜産農家の協力を得て，実際に牛に給与して嗜好性について確認した。
- イ 農地の集約化による生産・作業の効率化に向けた支援
- ・担い手農家，集落営農法人のほ場をマッピングして，担い手農家間で作付交換を試みるものの地権者の意向が強いこととほ場条件が異なることから団地化推進は困難であった。
 - ・農地中間管理事業の活用を図るため，関係機関とともに農用地利用改善組合，地権者，担い手農家を対象とした事業説明会を開催するとともに，戸別訪問を実施して事業参加への理解を求めた。

(2) 指導・支援の体制

- ア W C S用稲の新品種の導入による作業労力の分散化のための支援
- ・東串良町の協力を得て，実証ほの設置，嗜好性試験を行った。
- イ 農地の集約化による生産・作業の効率化に向けた支援
- ・農地中間管理事業の窓口である鹿屋市吾平総合支所や県農地中間管理機構と連携して，事業の周知のための説明会や戸別訪問を実施した。

3 普及活動の成果

(1) 課題及び目標の達成状況とその要因

中生品種は晩生品種と比較して収量，嗜好性ともほぼ同等であることと，出穂時期が早いことから収穫期の分散も可能であることを確認した。

町外に在住する地権者が多いことや未相続の水田も多く存在したものの，対象面積の22%を農地中間管理機構に貸付し，地域集積協力金の交付を受ける見込みとなった。

(2) 活動に対する生産者・農家の評価

W C S用稲の中生品種については，順調に生育し牛の嗜好性も良かったことから農家の評価は高く，作付について前向きな意見が得られた。

農地の集積については，当初，事業内容が理解できないとの意見が多かったが，説明を行うことで，事業に取り組む意義の理解が得られた。

(3) 地域農業振興への貢献

畜産の基盤確立のための，水稻農家との連携が構築できつつある。

4 今後の普及活動に向けて

(1) 今後の課題

- ・中生品種の普及
- ・農地中間管理事業の更なる推進

(2) 今後の活用に向けて

粗飼料の流通体制を構築して，畜産基盤の確立を図る。

